

川崎 民生委員児童委員 情報

川崎市民生委員児童委員協議会 川崎市中原区上小田中6-22-5

発行人：森 昭司 編集人：小谷田 實



目 次

50 周年にあたって	P2-3
記念大会	P4-5
50 年のあゆみ	P6-9
トピックス あんしんセンターについて	P10
トピックス 一斉改選・表彰関連	P11
お知らせ・編集後記	P12



川崎市民生委員児童委員協議会設立 50 周年にあたって

川崎市民生委員児童委員協議会 会長 森 昭司



昭和47年4月に川崎市は福岡市、札幌市と共に政令指定都市に指定され、川崎市民児協も神奈川県民児協から独立しました。今年は設立50周年の節目の年に当たります。この間、川崎市民児協を支え、導いていただいた多くの先人の方々の御労苦に改めて敬意を表し感謝を申し上げます。

昭和47年当時の日本は高度経済成長期の終盤を迎え、川崎市では大気汚染などの公害が大きな問題となっていました。50年経って、当時と現在とでは、社会状況は大きく変貌し人々の暮らしは豊かにそして便利になりました。その一方で、我が国は人口減少、超高齢社会に突入し、50年前には想像もできなかったような様々な社会問題が発生しています。急激な時代の変化と共に、地域では住民同士のつながりが希薄になり、住民の福祉課題は複雑・多様化しています。

民生委員制度が創設された当時、民生委員の役割は、貧困の状況を調査し生活に困っている貧しい人々を救済することにあります。今は、目に見えるような形の貧困は少なくなってきましたが、子どもや若い女性の貧困が潜在し広がってきています。さらに、2年前に始まったコロナ禍によって、

社会から孤立し不安を抱えながら生活している方も増えていきます。このように社会から取り残され、地域の中でなかなか声を出せない人々に気づき、つなぎ、みまもることが、民生委員児童委員に課せられた大きな使命となっています。

人間関係が希薄化すればするほど、人々は誰かとつながりたい、手を差し伸べてほしいという気持ちが強くなっていくのではないのでしょうか。今、民生委員児童委員に求められているのは、物質的な豊かさの中で置き去りにされてきた人々の心に寄り添った支援であり、そこには人間同士の温かい心の交流があるのだと思います。我々民生委員児童委員は、どのような時代であっても「隣人愛」を持って人と人とのつながりを大切にしていかなければなりません。

日本独自の制度である民生委員児童委員制度が、これからも持続可能な制度として安定的に継続していくためには、我々の仲間となる担い手を確保し、ひとり一人の委員がやりがいと誇りをもって活動することができる環境づくりが重要です。川崎市民児協は、今後も地域や関係機関、行政との信頼関係を築き連携をさらに深めながら、次の世代に引き継いでいくことを誓い、川崎市民児協設立50周年の御挨拶とさせていただきます。

発行を祝して

川崎市長 福田 紀彦



川崎市民生委員児童委員協議会設立50周年及び、記念誌となる「民生委員児童委員情報特別号」発行、誠にありがとうございます。

民生委員児童委員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が難しい中で、日頃から地域社会における福祉活動に献身的に取り組まれ、本市福祉行政の推進に、多大なる御支援と御協力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

本市といたしましても、すべての市民が安全・安心な生活を送れるよう、引き続き万全を期してまいります。

さて、民生委員制度につきましては、大正6年の「済世顧問制度」にはじまり、その後、全国に制度が普及し、民生委員児童委員の皆様におかれましては、100年以上の歴史と伝統を受け継がれ、地域の皆様の身近な相談役として、地域福祉の増進のために幅広い活動を行っていただいているものと認識しているところでございます。

本市は、大正13年の人口約5万人からスタートし、昭和47年の政令指定都市への移行、翌年の人口100万人突破をはじめ、これまで利便性の高い生活都市として発展するとともに、今後の少

子高齢・人口減少社会を見据えた、多彩な魅力を持つ150万人都市へと変貌を遂げてきたものと感じております。

民生委員児童委員の皆様におかれましては、この長い歴史とともに、令和4年7月1日現在、1,530名の方に着任していただいております。今日の川崎市の発展に、大きく貢献していただけてきたものと考えております。

近年の社会状況の中では、児童虐待や、高齢者の一人暮らし、生活困窮者の自立支援など、生活課題が多様化していることから、皆様の日々の活動の中では、御苦勞も多くあることと存じます。そのような中でも、地域住民のために、地域福祉の担い手として活動されていることに対し、御礼申し上げます。

本市におきましては、「最幸のまち かわさき」を目指し、すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、区役所地域みまもり支援センターを中心に、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域のつながりづくりに取り組んでいますので、民生委員児童委員の皆様をはじめ、地域福祉に携わる関係団体・機関の方々と連携が必要不可欠となります。今後とも「安心のふるさとづくり」を、皆様とともに進めてまいりたいと存じます。

結びに、川崎市民生委員児童委員協議会のますますの御発展と皆様方の今後の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

川崎市民児協設立 50 周年をお祝いして

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 会長 浮岳 堯仁



川崎市民生委員児童委員協議会の設立50周年にあたり、心からお祝いを申し上げます。

昨今の地域福祉を取り巻く状況に目を向けますと、少子高齢化の加速や、経済の低迷を要因とした貧困、社会的孤立の問題、虐待、引きこもりなど、地域福祉の課題は多様化・複雑化しております。また、近年は地震や豪雨といった災害も頻発しており、いざという時に備え、平時から地域での関係づくりを行うことの重要性が高まっています。そのような中で、民生委員児童委員の皆様様の活動内容はこれまで以上に深く、多岐にわたっていることと思います。

民生委員制度は「済世顧問制度」「方面委員制度」が源ですが、長い年月を通して果たしてきた「常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な支援に繋ぐ」という役割は、まさに今日における地域福祉の礎となるものです。

民生委員 30 年の日々を振り返り

御幸東第1地区 渡邊 繁子



日々移り変わる日常に、今、あなたに会いたいと思ひ出させる尊い方々が、おられます。

何れの方々も、私を感性豊かにして下さいました。

A子さんは旧満州から引き上げてこられました。乳飲み子を背に、兵士のピストルを顔面に受けながら、幼子の命乞いに全財産を捧げてやっとの思いで帰国されたそうです。帰国後は、保険の外交員として働き一生懸命子育て、ご主人の介護も手を休めることなくされました。A子さんとの関わりの中で、いつしか共感と情動が積み重なりました。当時は介護保険制度もなく、親類、友人、近所の人、最後に公的組織への相談などが主でした。

何れもサポート源となって補完することに限界があります。こうした状況のもとで、私に何ができるでしょうか。寄り添いお話をお聞きすること、そうした中で状況をきめ細かく知り、Aさんの生きた歴史や想いを受け止めて現在の状況のみならず、人生経験に対しても喜びや苦しみを共有していきました。会話を積み重ねていく中で共感する気持ちがさらに高まりました。民生委員としての活動への自分自身の励ましであり宝物です。最後迄自分らしく暮らしたAさんは穏やかな方でした。

川崎市民生委員児童委員協議会が設立された昭和47（1972）年から令和4（2022）年までの間に、川崎市の人口は約98万人から154万人にまで増加し、街の様子も大きく変化しましたが、長きにわたり変わらず地域を見守り、支え続ける皆様の活動が、今後の地域の発展により一層不可欠なものになると考えております。

これまで、川崎市民生委員児童委員協議会と川崎市社会福祉協議会は「車の両輪」のように支え合い連携しながら、地域住民の福祉ニーズの解決に取り組み、地域福祉活動を推進してまいりました。これからも引き続き良きパートナーとして、共に私たちの地域を育ててまいりたいと思います。

今後、民生委員児童委員信条にある隣人愛がこの川崎の地域にさらに広がり、「誰もが安心して暮らすことのできる地域のまちづくり」に向け、歩まれ続けることを期待して、お祝いの挨拶とさせていただきます。



川崎市民生委員児童委員協議会設立50周年記念 第72回 川崎市民生委員児童委員大会

設立50周年を迎えた川崎市民生委員児童委員協議会の
第72回大会が盛大に開催されましたので、ここにその概要をご紹介します。

- 1.開催日時 令和4年5月27日(金)午後1時10分～午後4時10分
- 2.会場 カルッツかわさき ホール

第1部 式典

- (1) 主催者挨拶
- (2) 功労者表彰
- (3) 民児協会会長表彰
- (4) 来賓祝辞
- (5) 大会宣言採択

第2部 音楽鑑賞

歌 桜井純恵氏
ピアノ 樺山潤一郎氏

第3部 講演

演題「戦国武将の子育てと
人材育成」
講師 静岡大学名誉教授
小和田 哲男氏

この日は午前中に激しい雨が降りましたが、午後には雨も上がり、
川崎市内の民生委員児童委員約800名が参加し開催されました。

第1部 式典

初めに物故者5名に黙とうを捧げた後、主催者代表として福田市長と森会長から挨拶がありました。福田市長の挨拶では「コロナの影響で人どうしの接触が減り分断され大きなダメージを受けた。これを乗り越えるために民生委員児童委員の皆様方にぜひその中核を担っていただきたい。今年は民生委員児童委員の改選期に当たるので、先日FMヨコハマのラジオ番組に出演し民生委員児童委員のPRをしてきた。また、市政だよりも掲載するなど今後も市民の理解を得る努力をしていきたい。」などのお話がありました。続いて森会長から「日頃、民生委員児童委員活動を支援して下さる関係者に感謝申し上げますとともに、民生委員児童委員の皆様のご尽力に心からお礼を申し上げます。また、川崎市民児協は今年設立50周年を迎えたが、先人たちの功績をたたえ」とともに今後ますます



す我々の活動は重要となり、地域の人たちの支援や調整役としての役割をしっかりと果たしていきたい。」との挨拶がありました。次に功労者表彰があり、勤続30年が2名、25年が5名、20年が1名、15年が103名、10年が11名、合計122名の方が表彰されました。また、川崎市民児協会会長表彰として、表彰1名、感謝5名の方が表彰されました。受賞者を代表して幸区の渡邊繁子委員から「受賞を契機に地域福祉活動にさらに努力してまいりたい。」との挨拶がありました。ご来賓の代表として、川崎市議会議長の橋本勝様と川崎市社会福祉協議会会長の浮岳堯仁様からご挨拶をいただきました。第一部の最後に川崎市民児協の相川副会長から「大会宣言」の朗読があり、採択されました。



す我々の活動は重要となり、地域の人たちの支援や調整役としての役割をしっかりと果たしていきたい。」との挨拶がありました。次に功労者表彰があり、勤続30年



第2部 音楽鑑賞

川崎の歌姫こと桜井純恵さんは国立音楽大学を卒業後、現在は高津区文化協会理事を務め川崎市との共催事業として「親子のための歌とリトミック講座」を開講し、昨年度は約500組、1,000人の親子が参加されました。また2019年の台風19号の際は被災者のためにチャリティショーを開いて寄付を行うなど、幅広い活動に取り組まれています。この日は民生委員の歌「花咲く郷土」から始まり、横田めぐみさんのご両親に捧げる「母恋し」「愛の賛歌」など全6曲を熱唱され、会場に響き渡る素

敵な歌声に魅了されました。桜井純恵さんから「いつもありがとうございます。カルッツの舞台から客席を見渡し、こんなに大勢の方が民生委員児童委員として私たちのふるさと川崎を支えて下さっていると改めて感じました。皆様方のご活躍を応援しています。」とのメッセージをいただきました。



第3部 講演

TVの歴史番組の解説や、NHKの大河ドラマの時代考証などで活躍されている静岡大学名誉教授の小和田哲男先生から「戦国武将の子育てと人材育成」という演題でご講演をいただきました。戦国時代の子どもの教育はお寺の果たす役割が大きかったこと、また武将だけでなく村人も子どもの教育に熱心だったことをお聞きし、教育熱心な国民性は昔からあったようです。



小和田先生から民生委員児童委員の皆様へ「昔は、お寺の住職が困りごとの相談を受けたり、村人たちが孤児を助けたりすることがあった。民生委員児童委員の皆様はその助け合いの精神を引き継がれていて、現在の私たちにとってとても有難い存在です。」とのメッセージをいただきました。

出席した委員の方に大会の感想をお聞きしたところ「川崎市民児協は今年設立50周年を迎えましたが、私たちは50年後の100周年に向けて次の世代へしっかりとバトンをつなげていきたいと思います。」という声が寄せられました。

記念品について

豆菓子 (おとぼけ豆)

麻布十番豆源で一番人気の豆菓子です。ダジャレ好きの先代店主が「とぼけた味がしているなあ」とつぶやいたことから名づけられたそうです。いつまでもマメ(健康で元気)にという願いが込められています。



手提げ袋とタグ (下げ札)

不織布でできています。軽くて丈夫なので日々の活動やエコバックにお使いいただくことができます。川崎市民生委員児童委員のキャラクター「かわさきミンジー」を紹介するタグを取り付けています。

バッジ

純銀製です。裏に川崎市民児協50周年と刻印されています。委嘱時に支給された徽章は退任の際に返還しなければなりません。このバッジは記念としておくことができます。また、留め金がタイタック式になっていますので、どんな洋服にも取り付けやすくなっています。



川崎市民児協の設立

民生委員制度は、岡山県の済世顧問制度を前身として、大正6年に創設されました。翌年、大阪府で方面委員制度が始まり、全国に普及していきました。昭和6年には全国方面委員連盟が発足し、初代会長は渋沢栄一でした。戦後、昭和21年に方面委員制度は民生委員制度に改められ、全国方面委員連盟も変遷を重ね、平成4年12月から全国民生委員児童委員連合会と改称されました。

川崎市では、昭和3年に神奈川県から30名の社会委員が委嘱され、昭和12年からは方面委員としての活動が始まりました。昭和13年には神奈川県方面委員連盟の川崎支部が結成されましたが、

昭和26年に川崎市社会福祉協議会ができると、市内の民生委員は全員、市社協の会員となり、自主的事業については市社協の民生委員部会の中で取り組んでいました。

昭和47年に川崎市が政令指定都市になると、川崎市民生委員児童委員協議会が神奈川県民生委員児童委員協議会から独立して設置されました。昭和47年4月13日の民生委員部会において、市民児協の会則、事業計画、予算が審議され、この日を川崎市民児協の設立日としています。初代会長には高津区の田邊秀治氏が就任しました。



初代会長 田邊秀治氏

西暦	年号	川崎市の動き	全国と世界の動き
1972	昭和47	4月1日 政令指定都市に指定され、川崎、幸、中原、高津、多摩の5区が設けられる 川崎市民生委員児童委員協議会創立 (31地区)	札幌オリンピック開催 あさま山荘事件 沖縄返還 日中共同声明
1974	昭和49	人口が100万人を突破	
1977	昭和52		5月12日を「民生委員・児童委員の日」と制定 (民生委員制度創設60周年)
1978	昭和53	第1回かわさき市民祭りを開催 「関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会」当番市開催 (箱根 吉野) 「民生委員活動の手引き」(以後一斉改選時に作成)	伊豆大島近海地震 宮城県沖地震 第2次オイルショック 成田空港開港
1979	昭和54	政令指定都市移行を記念して高津区に川崎市民プラザ開設 「川崎市民生委員の歩み」(制度60周年記念)作成 「父子家庭実態調査」 婦人民生委員による「子どもの生活としつけ調査」	ソ連アフガニスタン侵攻 スリーマイル島原発事故
1981	昭和56	「川崎民生委員情報」創刊	
1982	昭和57	宮前区が高津区から、麻生区が多摩区から分区し7区制となる 宮前区民児協、麻生区民児協が設立される	長崎豪雨 フォークランド紛争
1983	昭和58		日本海中部地震 東京ディズニーランド開園
1986	昭和61	制度70周年記念事業 「民生委員児童委員の碑」完成 川崎駅東口に地下街川崎アゼリアが開業	チェルノブイリ原発事故
1987	昭和62	「民生委員児童委員の碑」の前にて顕彰式典 (以後年1回開催現在に至る) 日本初のシネマコンプレックスと称するチネチッタが開業	千葉県東方沖地震
1988	昭和63	川崎市市民ミュージアム・ふれあい館・産業振興会館を開館	川崎駅西口の再開発を巡ってリクルート事件が発覚 青函トンネル開通 瀬戸大橋開通
1989	昭和64	かながわサイエンスパーク (KSP) が高津区に設置される 4月11日に高津区の竹林で1億円の札束が発見される (竹やぶ騒動)	1月8日改元 以後「平成」 ベルリンの壁崩壊 消費税開始 (3%)
1990	平成2	「福祉基金」設置 市民オンブズマン制度が発足	東西ドイツ統一 福祉関係8法改正 (在宅福祉の推進へ) 世帯更生資金を生活福祉資金に改称
1991	平成3		湾岸戦争 雲仙普賢岳火砕流 台風19号「りんご台風」 ソ連崩壊 バブル経済崩壊
1992	平成4	「川崎民生委員児童委員情報」に改称	全国民生委員児童委員連合会に改称
1993	平成5	総務連絡会の市民児協への統合	北海道南西沖地震 (奥尻島津波) 冷夏 (翌年の米不足につながる) Jリーグが開幕、ヴェルディ川崎が等々力陸上競技場を本拠地にする。後期優勝しJリーグ初代年間王者に
1994	平成6	「川崎民生委員児童委員情報」編集委員会設置 市のシンボルマークが決まる	北海道東方沖地震 三陸はるか沖地震 主任児童委員制度の創設
1995	平成7	主任児童委員部会設置 とどろきアリーナがオープン	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件
1997	平成9	「民生委員児童委員活動実務篇」(制度創設80周年記念誌別冊)発行 富士通川崎サッカー部がプロ化し川崎フロンターレが誕生	東京湾アクアラインが開通 消費税が5%になる
1998	平成10	「21世紀の幸福に向かって」(制度80周年記念誌)発行 「やさしさ あたたかさ 支えあい 福祉の担い手をめざして」(民生委員法制定50周年記念誌)発行	長野オリンピック開催
1999	平成11	研修プログラム策定委員会設置、検討し会長へ答申	鳥取県西部地震
2000	平成12	全社協互助共励事業・都道府県モデル事業の指定を受け、研修を実施 研修企画委員会設置	有珠山噴火 三宅島噴火 社会福祉基礎構造改革、介護保険制度施行 民生委員法改正 (名誉職から地域福祉推進の担い手に 民児協「総務」を「会長」に呼称変更)
2001	平成13	全民児連女性委員部会解消にあわせ、女性民生委員研究会を発展的解消 児童委員活動強化推進委員会を設置 川崎市子どもの権利に関する条例を施行	USJ開業 芸予地震 児童福祉法改正 (主任児童委員の法定化、役割の明示) DV防止法施行



瀬戸大橋開通



ヴェルディ川崎
Jリーグ初代年間王者
©川崎市映像アーカイブ



東京湾アクアライン開通
©川崎市映像アーカイブ

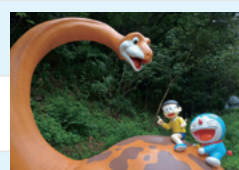
西暦	年号	川崎市の動き	全国と世界の動き
2002	平成 14	社会福祉医療事業団の助成を受け「安心ゆうあいカード」作成、一人暮らし高齢者等に配布 向ヶ丘遊園が閉園	日朝平壤宣言 ホームレス自立支援法を施行
2003	平成 15	高津区に「川崎市 子ども夢パーク」がオープン	宮城県北部地震 十勝沖地震
2004	平成 16	「関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会」当番市開催（箱根小涌園） 川崎駅西口にミュージザ川崎シンフォニーホールが開設される	新潟県中越地震 児童福祉法・児童虐待福祉法の一部改正（児童虐待対策の強化）
2005	平成 17	90周年記念事業企画推進委員会設置	福岡西方沖地震 JR 福知山線脱線事故 愛知万博開催 障害者自立支援法公布 個人情報保護法施行
2006	平成 18		「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」を全国展開（90周年記念事業） 高齢者虐待防止法施行
2007	平成 19	民生委員制度創設 90周年記念事業 ・民生委員制度 90周年記念十年小史「愛」発行 ・90周年記念式典開催 事業報告会・講演・演奏会 ・災害マニュアルの発行 「新潟県中越沖地震」義援金の協力 1,550,000円 多摩区生田第1地区の分割 生田東・生田中央へ 55地区民児協に	第1回東京マラソン 新潟県中越沖地震
2008	平成 20	市民児協事業等のあり方検討委員会設置	第2次「民生委員児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」の取組み リーマンショック
2009	平成 21	「こんにちは赤ちゃん事業」に協力 市民児協事業等のあり方検討委員会報告	新型インフルエンザ感染広がる 小惑星探査機「はやぶさ」7年ぶりに帰還
2010	平成 22	主任児童委員の年齢要件の改正 活動費の請求・受領に関する委任状の提出開始 第2次「民生委員児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」報告会開催	
2011	平成 23	多摩区に藤子・F・不二雄ミュージアム開館	3・11 東日本大震災（56名の委員が犠牲に）
2012	平成 24	中原区大戸第1地区の分割 大戸第1・大戸第3へ 56地区民児協に 「指定都市社協・民児連絡協議会」の当番市として川崎市社会福祉協議会と連携開催（川崎日航ホテル）	東京スカイツリー開業 障害者虐待防止法施行 障害者自立支援法公布
2013	平成 25	理事県外視察 福島県南相馬市民生委員児童委員連絡協議会（被災地）との情報交換会	民生委員法改正（分権改革一括法により民生委員の定数基準は、各自治体で条例に定めることとされた） 「全国児童委員活動強化方策・行動宣言」＜児童委員・主任児童委員版＞ 「民生委員・児童委員研修のあり方に関する検討委員会」報告
2014	平成 26	「民生委員児童委員活動の課題検討委員会」設置 川崎市「民生委員児童委員あり方検討委員会」設置 「民生委員制度創設 100周年記念実行委員会」設置	消費税が8%に
2015	平成 27	川崎市条例及び規定制定に基づき民生委員定数の改正（1682名） 100周年記念事業「高津区民祭」パレード参加 川崎市「民生委員児童委員あり方検討委員会」報告	介護保険法改正 生活困窮者自立支援制度施行 生活福祉貸付制度の一部改正
2016	平成 28	「熊本地震」支援募金の協力 1,505,000円 「民生委員児童委員の課題検討委員会」報告	熊本地震 マイナンバー制度スタート 障害者差別解消法施行 社会福祉法改正 児童福祉法等改正
2017	平成 29	人口が150万人を突破 民生委員制度創設 100周年記念事業 ・記念式典（川崎市民生委員児童委員大会と共催） ・記念誌「絆」発行 ・記念品（切手）配布 ・映画製作	民生委員制度創設 100周年 九州北部大豪雨 川崎フロンターレ Jリーグ初優勝
2018	平成 30	「7月豪雨災害」支援募金の協力 1,483,100円	大阪北部地震 西日本豪雨 台風21号 北海道胆振東部地震
2019	平成 31	神戸市を抜き人口国内6位の市となる ヘイトスピーチ条例が全国で初めて制定される 「関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会」を当番市として開催（川崎日航ホテル）	5月1日改元 以後「令和」へ 台風15号「房総半島台風」 台風19号「東日本台風」 消費税10%に
2020	令和 2		新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的大流行
2021	令和 3		新型コロナウイルスのワクチン接種始まる 延期された東京オリンピック開催
2022	令和 4	川崎市民生委員児童委員協議会創設 50周年記念式典（民生委員児童委員大会と共催）	



関東ブロック大会
斉藤会長（当時）



ミュージザ川崎
シンフォニーホール



藤子・F・不二雄
ミュージアム開館



高津区民祭パレード



100周年記念式典



関東ブロック大会
富岡会長（当時）



はやぶさ
©池下章裕 MEFJAXA・ISAS



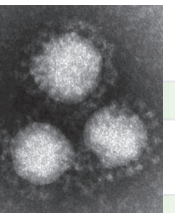
東京スカイツリー
開業



熊本地震
写真提供：熊本城総合事務所



川崎フロンターレ Jリーグ初優勝
©（一社）川崎市観光協会



新型コロナウイルス

川崎市あんしんセンターの取組み

川崎市あんしんセンターでは、認知症などで判断能力が低下している高齢の方や障害のある方で、福祉サービスの利用契約や日常的な金銭管理などの支援を必要とされている方に、「一般相談」「日常生活自立支援事業の実施」「成年後見支援センターによる支援」を行い、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう保護や支援を行っています。

1 一般相談

高齢の方や障害のある方の権利擁護に関する相談を行っています。

2 日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者の方や障害のある方、または、概ね65歳以上の方で日常生活に援助が必要な方を対象に、「福祉サービス利用援助・日常的な金銭管理サービス」「書類等預かりサービス」を実施しています。

3 成年後見支援センターによる支援

成年後見支援センターは、川崎市社会福祉協議会川崎市あんしんセンター内に設置しており、成年後見制度の利用促進を図ることを目的に、「成年後見制度の相談」「利用促進」「後見人支援」「広報」の4つの取組みを行っています。

(1) 成年後見制度の相談

成年後見制度の仕組みや申立てに関する相談を実施しています。また、市あんしんセンターで弁護士、司法書士、社会福祉士による専門相談を実施しています。

(2) 利用促進

家庭裁判所に提出する申立書の作成に関する相談を実施しています。また、市民後見人（川崎市の定める一定の研修を修了し、候補者として登録している市民の方が、裁判所の選任により後見人になることがあります。）を養成するとともに、市民後見人の活動を支援しています。

(3) 後見人支援

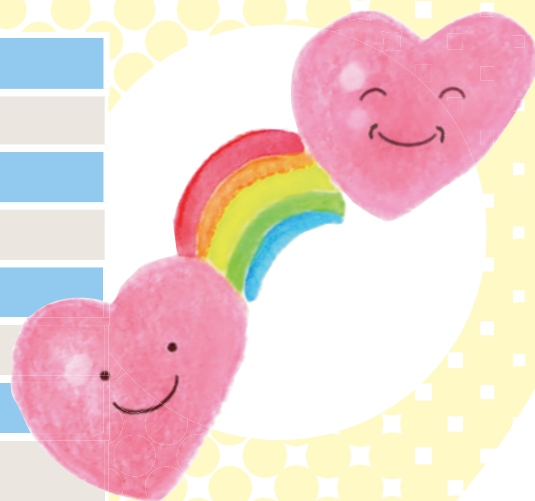
親族後見人（親族は本人のことをよく知っていることなどから、親族の方が、裁判所の選任により後見人となることがあります。）からの相談を実施しています。

(4) 広報

成年後見制度の普及啓発や制度理解を深めてもらうための講座や研修を実施しています。

高齢の方や障害のある方の生活や金銭管理に関する困りごとがあれば、お住いの区社会福祉協議会あんしんセンターまで御相談ください。

川崎区あんしんセンター	044-245-1144
幸区 あんしんセンター	044-556-5082
中原区あんしんセンター	044-722-6122
高津区あんしんセンター	044-812-5833
宮前区あんしんセンター	044-856-5788
多摩区あんしんセンター	044-933-2411
麻生区あんしんセンター	044-952-5711
川崎市あんしんセンター 川崎市成年後見センター	044-712-8071



一斉改選に伴う引き継ぎについて



今年は3年に一度の一斉改選の年です。委員の交代があった場合でも、地域の中で前任者の活動が受け継がれ必要な支援が途切れないよう、新任委員への引継ぎを確実に行うようにしましょう。また、新任委員が不安を感じることなく円滑に活動を始められるよう、各区・地区の状況に応じて、各地区民児協での組織的な対応をお願いいたします。

1 引き継ぎ項目および関係書類（共通）

行政関係	民児協関係	社協関係
1 生活保護開始・廃止変更等通知書（及び生活保護受給者一覧表）	1 見守りカード及び保管ファイル	1 生活福祉資金借受世帯援助記録票
2 災害時要援護者登録台帳（個票）	2 川崎民生委員児童委員情報（79号）	全民児連関係
3 一人暮らし等高齢者実態調査票	3 物品（チラシ、マップ、腕章、エプロン、ベスト等）	1 児童委員活動の手引き
4 担当地区の地図		2 相談支援活動ヒント集
		3 ひろば（2022年11月）

2 福祉事務所へ返却するもの

身分証明書、徽章、民生委員児童委員門標、未使用の文書・用紙、引継に適さない個人情報

3 申し送りについて

引き継ぎの際には、必要最小限のものを申し送ることとします。

なお、申し送る方法としては、各区・地区の慣例も尊重しながら、それぞれの方法でされることが望ましく、必要に応じて定例会等の場において確認し、地区会長の指導の下で行います。

4 個人情報と守秘義務

在任中に知りえた個人情報に対しては退任後も守秘義務が課せられ、個人情報の取り扱いには十分な注意が必要です。個人情報を引き継ぐ際には、場合によっては予め住民に同意を得ておくなど、適切に対応します。

委嘱状伝達式	日時:12月1日(木) 午後	会場:カルッツかわさきホール
常任理事会	日時:12月15日(木) 午前10時30分	会場:未定
理事会	日時:12月15日(木) 午後2時	会場:未定
地区民児協会長・会計研修会	日時:12月22日(木) 午前10時	会場:未定

※市民児協への新役員名簿・委員会委員名簿の提出は12月12日（月）までをお願いします。

おめでとうございます

令和4年春の叙勲において、森 昭司 会長が瑞宝単光章を受章されました。勲章伝達式は、5月9日（月）に県庁本庁舎3階 大会議場で執り行われました。



福田市長が御幸東第1地区民児協と 大戸第2地区民児協の定例会を視察しました

福田市長は、一つひとつの事例に触れながら、「地域包括ケアシステムの構築に向けた地域の互助を支えるつながりづくりは重要な施策と考えており、取組の推進に向けて、民生委員児童委員の皆様のお力が必要ですので、引き続きお力添えをお願いいたします。」と述べました。

御幸東第1地区 (5/11)



大戸第2地区 (5/12)

川崎市民生委員児童委員協議会の ホームページが新しくなりました!

URL <https://minjikyokawasaki.jp/>

※委員・事務局専用ページから研修の動画などを視聴することができます。



ユーザー名

パスワード

川崎版民生委員児童委員のキャラクター「かわさきミンジー」

「かわさきミンジー」は、東京都民生児童委員連合会が作成した民生委員児童委員キャラクター「ミンジー」の川崎版です。ミンジーは、民生委員の「みん」と児童委員の「じ」をとって名付けられました。

集団生活を営む中で、みんなで協力して子育てをするペンギンをイメージキャラクターとし、「地域における支え合いを目指す」「社会全体で子育てを応援する」活動に取り組む姿を表しています。

川崎市民児協でも、民生委員児童委員に親近感をもっていただき、民生委員児童委員活動のPRに活用するため、「かわさきミンジー」を作成しました。

「かわさきミンジー」のデザインは、川崎フロンターレのサポーターをイメージしたものとなっています。「かわさきミンジー」のデータを提供しますので、各地区・区の広報やイベント等にも是非活用してください。



編集後記

情報誌編集委員 小池 多恵子

皆様、50年前は10代それとも20代でしたか？
50年、日本は平和になり、高度成長を経て今に至っています。
デジタル化やIT化が進み社会や経済の仕組み、そして私たちの生活も大きく変化しています。
しかし、世界から戦争やコロナのような疫病は無くなり、貧困を始めとして手助けを必要としている人が減ることはありません。
次の50年後に向けて今、私達民生委員児童委員の課題は何か考えてみませんか。



情報誌編集委員会

委員長	小谷田 寛
副委員長	仁上 勝之
委員	横島 正志
	内田 章
	竹内 敬二
	浮岳 亮仁
	小池 多恵子
	森 眞澄
	若林 豊茂美